

# 分科会 17

## 家族による家族学習会

出演者：貫井信夫（家族学習会普及事業企画委員・千葉県ファーム栗の木家族会）  
後藤淳子（野田市心の健康を守る会）  
深澤五郎（市原市こすもす会）  
国分栄樹（木更津市「地域で心の病を支える家族の集まり」つくし会）  
鈴木裕子（野田市さくらの友の会）  
鈴木厚子（野田市心の健康を守る会）

2007年度から取り組みの始まった家族学習会は、8年目を迎え、今年度は東北から九州まで50所以上の家族会が実施予定で、都道府県レベルでの取り組みも増えてきております。この分科会には40名ほどが参加してくださいました。参加者の内訳は、家族の方が7割、支援者の方が3割で、当事者もいらっしゃいました。流れは以下のとおりです。

### ■ あいさつ・企格趣旨・演者自己紹介（約10分）

#### ■ 家族学習会の説明（約40分）

- ・千葉県内で、家族学習会の開始以来何回も経験を積んだ3名の家族から説明がありました。
- ・ファーム栗の木家族会の貫井から、「家族学習会の推移」として、2007年開始以来の経緯、所属している千葉県家族会連合会で賛同する家族会が少しずつ増え、近年は事業計画に取り入れて進めることで県下全域に広まってきたことなどの説明がありました。
- ・つくし会の国分から、「家族学習会とは」のテーマで、学習会の目的、基本、進め方など、ご自分の経験をふまえて、わかりやすい説明がありました。
- ・さくらの友の会の鈴木（裕子）は、「家族学習会を体験して」のテーマで、家族会との出会い、学習会の出会いにつながり、お子様との苦難な道から、前向きな生き方を取り戻された体験を生き生きと話しました。
- ・・・・休憩（デモ準備）（約10分）・・・

#### ■ 家族学習会のデモンストレーション（約60分）

- ・会場から参加家族を5名募り、5名の講師が担当者役になり、家族学習会の一部をデモとして行いました。
- ・テキストを輪読し、病気や生活での対処に役立つ情報を共有した後、その内容に関してお互いの体験を自由に語り合いました。
- ・担当者は参加者の悩みや辛さに共感すると共に、家族として頑張っている生活上の対処や工夫に注目し、それを伝えていました。
- ・親の立場の方、兄弟の方、専門職でありながら家族の方など様々な家族が参加され、短いデモでしたが、初対面とは思えない活発な話し合いが行われ、家族同士だからできる家族学習会の素晴らしさを実感できました。

#### ■ 質疑・ディスカッション（約30分）

家族学習会を実施してみたいというご家族や支援者から多くの質問があり、関心の高さを感じました。家族（会）が高齢化、停滞する中、この活動を通じて、さらに広まっていく熱意を感じました。

《貫井信夫（家族学習会普及事業企画委員・千葉県ファーム栗の木家族会）》